

Ⅲ－６ 食品中の放射能濃度実態調査

1 目的

昭和 61 年 4 月 26 日の旧ウクライナ共和国チェルノブイリ原発事故後、国は昭和 61 年 11 月 1 日からヨーロッパ地域からの輸入食品について放射能暫定限度 370Bq/kg ($^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}$) 定め、検疫所において検査を実施しており、本県においても、昭和 62 年 2 月よりヨーロッパ地域からの輸入食品について検査をはじめ、現在ではモニタリング調査の一環として国内食品及び輸入食品の検査を実施しています。

また、平成 20 年に横須賀港に配備予定のある原子力空母や北朝鮮の地下核実験等による放射能汚染が懸念されることから、放射能の汚染実態を把握することを目的として、国産品の魚介類、粉乳及び生しいたけ並びに輸入品について本調査を実施しました。

2 実施期間

平成 19 年 4 月～11 月

3 検査対象及び検体数

国内品：魚介類 8 検体、粉乳 2 検体、野菜類 8 検体(生しいたけ 2 検体)

輸入品：果実加工品 4 検体、魚介類 1 検体、野菜類 1 検体(生しいたけ 1 検体)

ナチュラルチーズ 1 検体

4 検査項目

魚 介 類： ^{134}Cs 、 ^{137}Cs 、 ^{106}Ru 及び ^{60}Co の 4 核種の放射能濃度

その他の食品： ^{134}Cs 及び ^{137}Cs の 2 核種の放射能濃度

5 検査方法

γ 線スペクトロメトリーによる

6 調査結果

食品別検査件数は、国産品で魚介類 8 (日本海産 4、太平洋産 4)、粉乳 2 (調整粉乳 1、脱脂粉乳 1)、野菜類 8 (生しいたけ 2) の計 18 件、輸入品で果実加工品 4 (ブルーベリージャム 3、乾燥ブルーベリー1)、魚介類 1 (あさり 1)、野菜類 1 (生しいたけ 1)、ナチュラルチーズ 1 の計 7 件、国産品及び輸入品を合わせて 25 件を実施しました。

検査核種のうち ^{134}Cs 、 ^{106}Ru 及び ^{60}Co の 3 核種については、全て定量限界以下でしたが、 ^{137}Cs は国産品の魚介類、調製粉乳、生しいたけ及び輸入品の果実加工品、生しいたけから検出されました。

なお、検査結果は、別表 1、別表 2 のとおりでした。

7 まとめ

国産品の検査で、検出された核種は ^{137}Cs のみで、魚介類が 8 検体中 8 検体 (100%)、生しいたけが 2 検体中 2 検体 (100%)、粉乳が 2 検体中 1 検体 (50%) から検出され、全体としては、18 検体中 11 検体 (61.1%) から ^{137}Cs が検出されました。

検出値の最高値は生しいたけの 1.2 Bq/kg でしたが、平成 9 年度の最高値の生しいたけ 12.0

Bq/kg より低い値でした。また、魚介類についても検出値は微量であり平年と比較してもほぼ同レベルでした。なお、魚介類における日本海産と太平洋産との間での有意差は認められませんでした。

国内品では暫定限度は設定されていませんが、輸入品中の放射能暫定限度（370 Bq/kg ($^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}$)以下) や科学技術庁設定の摂取制限の指標と比較しても微量でした。

輸入品では果実加工品（ブルーベリージャム）3 検体から ^{137}Cs が 0.11~0.54Bq/kg、中国産しいたけから 0.12Bq/kg 検出されましたが、輸入品中の放射能暫定限度と比較しても低い値でした。

今回調査の検出値は昨年度までと比較しても大きな変化は無く、検出値も低いものでしたが、放射能は長期に残存すること、平成 20 年に原子力空母が横須賀港に配備予定のあることから放射能汚染の懸念はあり、バックグランドデータの確保も含めて、今後も継続的に調査を実施する必要があると考えられます。

別表 1 国産食品

品 目		検体数	検出数	検出値範囲 [Bq/kg]				
				$^{134}\text{Cs}^{*1}$	^{137}Cs	$^{106}\text{Ru}^{*2}$	$^{60}\text{Co}^{*3}$	
魚 介 類	日本海産	あじ	1	1	<LOD ^{*4}	0.14	<LOD	<LOD
		たい	2	2	<LOD	0.14, 0.15	<LOD	<LOD
		さごし	1	1	<LOD	0.27	<LOD	<LOD
	太平洋産	あじ	1	1	<LOD	0.14	<LOD	<LOD
		かつお	2	2	<LOD	0.22	<LOD	<LOD
		かます	1	1	<LOD	0.12	<LOD	<LOD
小 計		8	8	<LOD	0.12~0.27	<LOD	<LOD	
野 菜	大根		2	0	<LOD	<LOD	/	
	ほうれん草		2	0	<LOD	<LOD		
	小松菜		2	0	<LOD	<LOD		
	生しいたけ		2	2	<LOD	0.95, 1.2		
	小 計		8	2	<LOD	0.95, 1.2		
調 整 粉 乳		1	1	<LOD	0.18			
脱 脂 粉 乳		1	0	<LOD	<LOD			
合 計		14	11	<LOD	0.12~1.2	<LOD	<LOD	

別表 2 輸入食品

品 目	検体数	検出数	検出値範囲[Bq/kg]				違反数
			^{134}Cs	^{137}Cs	$^{106}\text{Ru}^{*2}$	$^{60}\text{Co}^{*3}$	
魚介類（あさり）	1	0	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	0
果実加工品	4	3	<LOD	0.11, 0.51, 0.54			0
しいたけ（中国産）	1	1	<LOD	0.12			0
ナチュラルチーズ	1	0	<LOD	<LOD			0
合 計	7	4	<LOD	0.11~0.54	<LOD	<LOD	0

○ 輸入品原産国別検体数

中国(2)、アメリカ(2)、フランス(1)、デンマーク(1)、エジプト(1)